

eの進化、第2章。

インターネットをはじめとするネットワークと企業の基幹システムを連携して、新たなビジネス・プロセスを創造する「e-business」。AS/400eは、昨年8月の発表以来、ネットワーク時代のビジネス「e-business」を支える信頼性と拡張性、その優れたパフォーマンスで、数多くの業界やマスコミで大きな反響を呼んでいます。また、1997年 日経優秀製品・サービス賞 優秀賞を受賞し、数々の顧客満足度調査でもNo.1を獲得しています。そして1998年2月、AS/400eは、ネットワーク・コンピューティング機能の拡張、コスト・パフォーマンスに優れたモデルの追加などをはじめとするさまざまな機能拡張を行います。「e-business」の展開がこれからの企業の基盤となる時を迎え、AS/400eは企業の基幹システムを支えるビジネス・サーバーとして、さらなる進化をめざします。

OS/400 V4R2の発表

ノートミニが、AS/400eプロセッサ(PowerPC AS)上で稼働。
ネットワーク・コンピューティングの機能拡張
Java
NTサーバー機能

product preview (今後製品化が予定されている新機能)

新機種登場:AS/400eサーバー モデル170

その他のハードウェアの機能拡張

AS/400eシリーズ 1997年 日経優秀製品

サービス賞 優秀賞 日経産業新聞賞受賞

平成10年2月12日発行
発行元:日本アイ・ビー・エム株式会社 AS/400製品事業部
この資料は日本アイ・ビー・エム株式会社 AS/400事業計画が発行する「NEWS/4YOU」を基に作成しました。

eの進化、第2章。

AS/400e 今回のハードウェア、ソフトウェア拡張のめざすもの

1998年2月12日、AS/400eをさらに進化させる
OS/400 V4R2とeサーバー モデル170が発表されました。

e-business展開に向けたトータル・パフォーマンスの向上
Webテクノロジーの進化
統合型グループウェアの実現

基幹業務と高度に連携した「統合型グループウェア」。
ノートミノが、AS/400eプロセッサ(PowerPC AS*)上で稼働。
基幹業務に強いAS/400e*と先進的なグループウェアであるノートミノ**が、ネットワークを活用したビジネスを支援します。

大規模なグループウェアの展開が可能

最大12-Wayまでプロセッサを搭載できる高い拡張性を持つAS/400e本体上でノートミノを稼働させることにより、基幹業務と連携した大規模な「統合型グループウェア」を展開することが可能です。

基幹業務とグループウェアおよびインターネットを統合

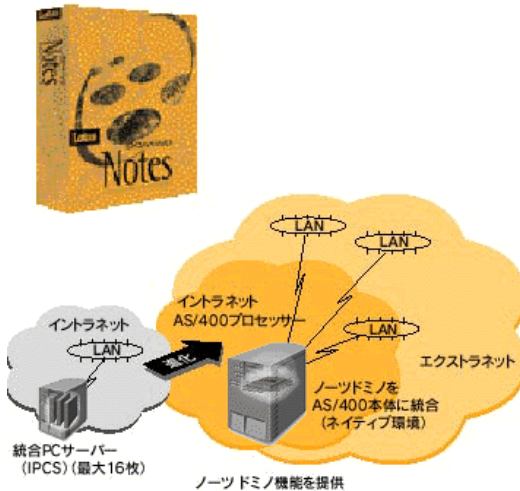
基幹データベースとグループウェアを連携させ、画像を含む基幹データをノーツのGUIを活用しながら容易に参照することが可能です。さらに、インターネットとの融合により、企業内・企業間・国際間で基幹システムと連携した情報共有や共同作業を行うことができます。

基幹システムとして高い実績をもつ信頼性

AS/400eは基幹業務を確実に遂行するために設計されたシステムであり、PCベースのシステムでノートミノを稼働する場合と比べて、優れた安定性を発揮します。例えば、万一、ノートミノの動作に問題が生じた場合でも、AS/400eのジョブの1つとして稼働しているので、ノートミノを再スタートさせるだけでよく、システムを再起動させる必要はありません。

統合ファイル・システム(IFS)によるファイル管理

統合ファイル・システム(IFS)により、AS/400eの基幹業務もノートミノも、同じウィンドウ内でマウス操作によるファイル管理が行えます。例えば、ファイルの移動/コピーはアイコンのドラッグ&ドロップにより簡単に行うことができます。



ネットワーク・コンピューティングの機能拡張

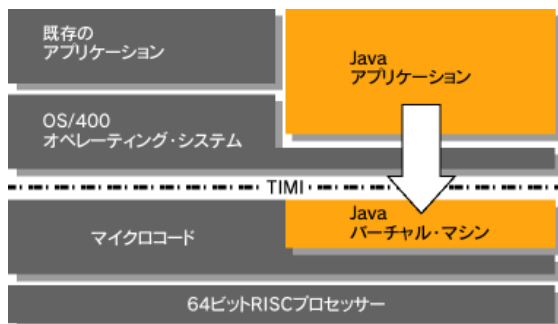
TCP/IPの以下の機能をサポートします。

- DNS
- DHCP
- RIPバージョン2
- PPP

平衡型接続においてTCP/IPネットワークの構築が可能になります。

Java

AS/400eでJava**アプリケーションが稼働します。Javaの実行環境であるJavaバーチャル・マシン(JVM)が、よりハードウェアに近いマイクロコードの中で実現されます。



Javaインタープリター/スタティック・コンパイラー

Java/バイト・コードを翻訳しながら実行する(インタープリター)ことも、パフォーマンス向上のために、スタティック・コンパイラーによりAS/400 * 上で直接実行可能なオブジェクト・コードを生成することも可能です。

Java開発キット(JDK)

OS/400 * V4R2には、サン・マイクロシステムズ * 社のJDK * * V1.1仕様のJava開発キットが提供されています。

AS/400 Toolbox for Java

Javaアプレットやアプリケーションから、AS/400のリソース(データベースなど)にアクセスするためのクラス・ライブラリーです。100% Pure Java製品ですので、JVM1.1をサポートしている環境でならどこでも使用できます。

JavaアプリケーションからDB2 * AS/400用にアクセスするためのJDBC * * ドライバーやレコード・レベルのファイル・アクセス機能

既存のアプリケーションをJavaから呼び出すための機能

JavaプログラムからAS/400eの統合ファイル・システム(IFS: Integrated File System)にアクセスする機能

VisualAge * for Javaエンタープライズ

Javaアプリケーション開発のためのツールで、ドラッグ & ドロップなどのビジュアルな環境で簡単にプログラムの設計/開発が行えます。“AS/400 ToolBox for Java”も含まれており、データベース・アクセスをはじめ、5250画面ファイルからJava AWTファイルへのコンバージョンなども行えます。期間限定で適用業務開発ツールAS/400用(ADTS)とセットで提供されます。

JBuilder/400(INPRISE社提供)

INPRISE社提供のビジュアルJava開発ツールで、JBuilderに“AS/400 Toolbox for Java”を追加した製品です。JavaによるAS/400クライアント/サーバー・アプリケーション開発をサポートします。90日間お試し版がOS/400 V4R2とともに提供されます。

NTサーバー機能

AS/400eに内蔵された統合PCサーバー(IPCS)上で、Windows NTバージョン4.0が稼働します。別のサーバーを設置することなしに、1台のAS/400上でOS/400アプリケーションとNTアプリケーションを稼働させることが可能です。

新しい統合PCサーバー(IPCS)に、Pentium Pro 200MHzを搭載

ファイルは、統合ファイル・システム(IFS)により、GUIインターフェースで一括管理。

AS/400e 1台あたり、最大16枚まで統合PCサーバー(IPCS)を装着可能

Windows NTからAS/400のCD-ROMやテープ装置にアクセス可能(導入/バックアップ用)

eの進化、第2章。

product preview (今後製品化が予定されている新機能)

インターネット環境を管理しやすいようにオペレーション・ナビゲーターを機能拡張
階層型ストレージ管理 (HSM) とディスク圧縮機能の提供
クライアント・アクセス OLE DB を使用してアプリケーションを開発するための PC ソフト開発ツールの提供
DB2 AS/400 用で Universal Database サポート
San Francisco * プロジェクト (Java ベースのアプリケーション・フレームワーク)

※正式な製品化は、IBMの今後の技術上および経営上の判断により最終決定されるものであることをご了承ください。

eの進化、第2章。

新機種登場: AS/400eサーバー モデル170

モデル170は、低コストでありながら優れたパフォーマンスを発揮し、高い信頼性ととも、安定稼働の求められる企業システムを支えます。また、高度な拡張性を備え、データやアクセス数の増加など、将来予想されるビジネスの拡大やe-businessへの進化にも余裕をもって対応できるサーバーです。

OS/400 V4R2搭載
 最大メモリー1GB
 最大磁気ディスク容量85.8GB
 最高速度155MbpsのATM LANアダプター対応
 最大平衡型ワークステーション接続台数: 228台
 PCIバス採用



AS/400eサーバーモデル 170

システム装置(9406-170構成)

型式	170				
プロセッサ機構	#2159	#2160	#2164	#2176	#2183
プロセッサ・タイプ	1-Way	1-Way	1-Way	1-Way	1-Way
主記憶域容量(MB)	64-832	64-832	256-1024	256-1024	256-1024
磁気ディスク容量(GB)	4.19-85.8	4.19-85.8	4.19-85.8	4.19-85.8	4.19-85.8
CD-ROM装置	1	1	1	1	1
平衡型ワークステーション(最大)(台)	228	228	228	228	228
通信回線(最高)(本)	11	11	11	11	11
LAN	1-6	1-6	1-6	1-6	1-6
内蔵磁気テープ機構(台)	0-1	0-1	0-1	0-1	0-1
大きさ(システム装置本体のみ) (システム装置拡張機構付)	幅34.0cm×奥行66.1cm×高さ61.0cm 幅55.0cm×奥行66.1cm×高さ61.0cm				
電源(V)	100Vまたは200V				
エネルギー消費効率(kw)	0.10				

eの進化、第2章。

その他のハードウェアの機能拡張

DASD容量の増大: 最大1.5TB
17.5GBの磁気ディスク機構の登場により、最大ディスク容量も増大します。

モデル	eシステム				eサーバー			
	600	620	640	650	S10	S20	S30	S40
最大 ディスク 容量(GB)	175.4	944.8	1,340	1,546.1	175.4	944.8	1,340	1,546.1

ATM接続用アダプターの登場

eサーバー モデルS40のエントリー・プロセッサとして、8-Wayプロセッサ機構が登場。これにより、12-Wayプロセッサへ移行するための、より容易なパスができました。

eサーバーでの最大ワークステーション接続台数の増加: 平衡型ワークステーションおよびASCIIワークステーションのeサーバーにおける接続台数が増大し、最大28台まで接続可能となります。

大容量の新しい内蔵テープ機構の採用: 4GB 1/2インチ・カートリッジ・テープ機構

eの進化、第2章。

AS/400eシリーズ 1997年 日経優秀製品・サービス賞 優秀賞 日経産業新聞賞受賞

「日経優秀製品・サービス賞」は、1997年に日本経済新聞、日経産業新聞、日経流通新聞、日経金融新聞の4紙に掲載された新製品や新サービス約15,000点の中から、特に優れた製品やサービスを表彰するものです。生産財や消費財だけでなく、ソフトウェア、金融・保険、旅行、レジャーなど、幅広い分野から選出されます。そして今回、AS/400eが「優秀賞 日経産業新聞賞」を受賞しました。コスト・パフォーマンスと約100倍のスケールビリティを持つ拡張性、また操作や運用管理の容易さ、そして高度なセキュリティー機能など、ネットワーク時代の基幹システムとしての性能が評価されたといえます。また、ノートドミノも同賞を受賞しています。

ちなみに、受賞した製品・サービスで、一般でも話題になったものとしては、トヨタ自動車のハイブリッド・カー「プリウス」、新型新幹線「500系型のぞみ」、バンダイ「たまごっち」、ロッテ「キシリトールガム」などがあります。また、映画は選考対象外であるにもかかわらず、アニメ映画「もののけ姫」が、関連グッズや書籍などのマルチメディア展開を評価され、受賞しています。